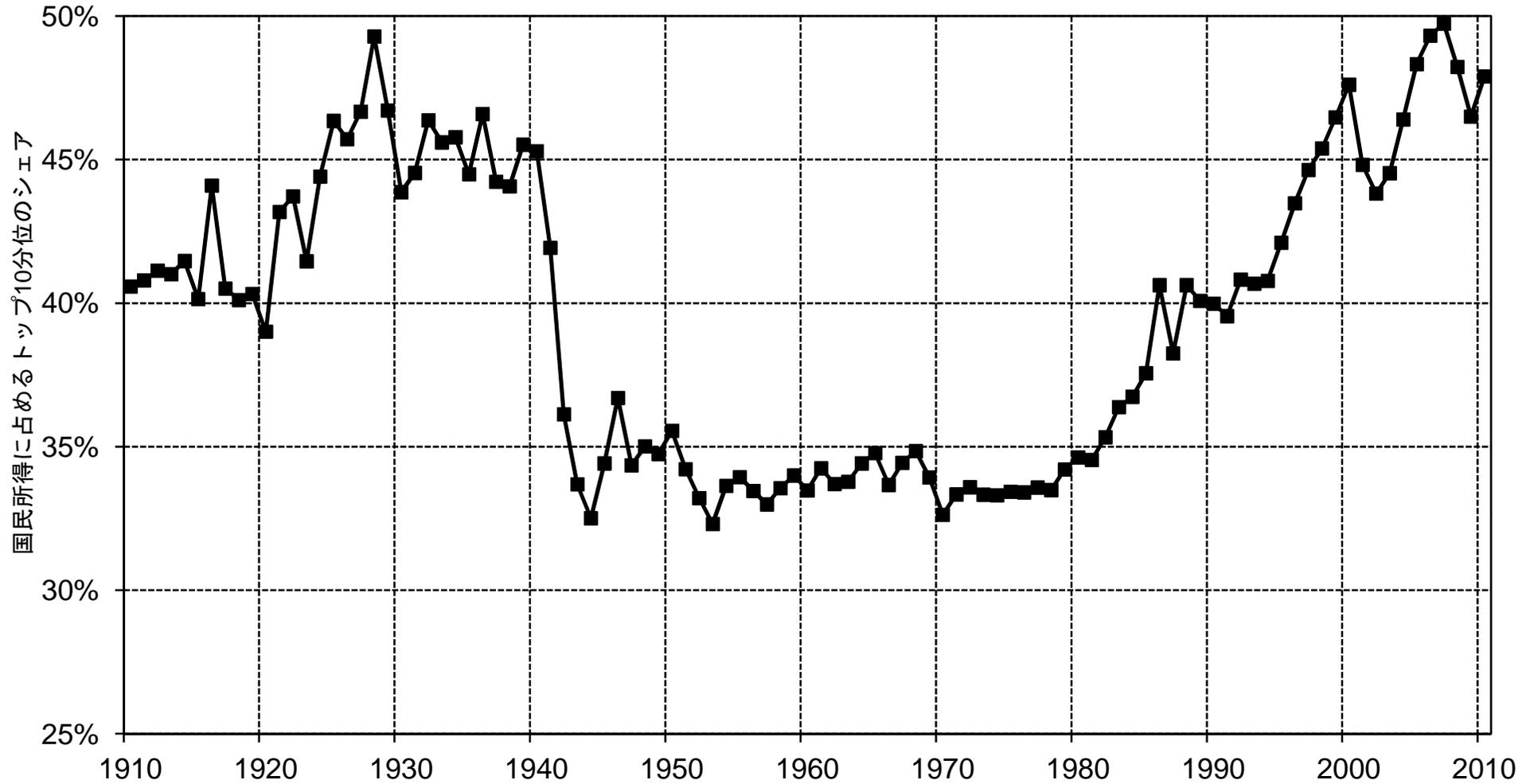


図 I.1. 米国での所得格差 1910-2010年



米国でトップ十分位の占める比率は、1910年代から1920年代には45-50%だったのが、1950年には35%以下となった(これがクズネッツの記述した格差低減だ)。その後、1970年代に35%以下になってから、2000年代や2010年代には45-50%になった。

出所と時系列データ: <http://piketty.pse.ens.fr/capital21c>を参照。